

会 議 録

名 称	平成29年度 第1回 松山市障がい者総合支援協議会
事 務 局	保健福祉部 障がい福祉課 TEL 089-948-6353 FAX 089-932-7553
開催日時	平成29年11月16日(木) 13:30~15:00
開催場所	松山市役所別館6階 第5委員会室
出席者	委員 田中 チカ子、近藤 益代、増田 頼昭、河野 恭子、佐々木 よしえ、 伊勢元 るり子、三好 利一(代理)佐川 光俊、竹之内 直人、 岩井 浩(代理)粉原 朋志、武智 幸男、石田 美栄子、角田 三記子
	事務局 西市保健福祉部社会福祉担当部長、山岡保健福祉部副部長、 金指障がい福祉課長、花崎保健予防課長 ほか
議 題	松山市障がい者総合支援協議会各部会報告等について
議事内容	<p>○ 開会</p> <p>○ 議事</p> <p>1 各部会からの報告</p> <p>2 第4期障害福祉計画の状況報告</p> <p>3 障がい福祉サービス実績報告</p> <p>4 「第5期障害福祉計画」及び「第1期障害児福祉計画」に係る国の基本指針について</p> <p>5 その他</p> <p>○ 質疑応答要旨</p> <p>委員 一般就労への移行の判断は、移行支援事業所内での判断のみか。</p> <p>事務局 事業所で訓練して、企業の実習・研修を受けて、採用されれば一般就労となる。本人の意向を聞いて、就労移行につなげている。その方の持っている技能を伸ばし、企業への就職に結びつける。就職後は相談員としてフォローを行ったりしている。</p> <p>委員 入院中の精神障がい者の地域生活への移行について、平成27年度より平成28年度の人数が減っている理由は。</p> <p>事務局 障がい者の重度化や、平成21年度から地域移行に取り組んできて、移行できる人はどんどん移行し、残っている人は入院が長期化していて難しい人が多い状態。</p> <p>委員 就労移行支援の利用が下がっているようだが、現状を聞きたい。</p> <p>事務局 事業所間での交流会など開き、連携を図っている。</p> <p>委員 就労継続支援B型は3年間で伸びているが、理由は。</p> <p>事務局 地域移行が進むと日中活動の場の利用も増え、B型の利用は今後も増えると思われる。</p> <p>委員 放課後等デイは増えており、送迎等助かっているという家庭も多い。スクールバスとの関係が学校として課題があるが、今後も伸びるか。</p> <p>事務局 増えていくと思われる。</p> <p>委員 相談支援事業の質の向上が重要と思うが、基幹相談支援センターについてどのように考えているか。</p> <p>事務局 市が直接成年後見制度を行うとともに、市社協や南北センターとの連携で、センターの機能は補えていると考えている。</p> <p>次回の協議会日程予定(来年3月開催)を報告し、議事終了</p>

備考(資料)	(配布資料) <ul style="list-style-type: none">・ 資料1 平成29年度 松山市障がい者総合支援協議会各部会報告・ 資料2 松山市第4期障害福祉計画の状況報告について・ 資料3 障がい福祉サービス等実績・見込・ 資料4 「第5期障害福祉計画」及び「第1期障害児福祉計画」に係る国の基本指針について・ ヘルプマークのチラシ
公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 全部公開 部分公開 非公開
傍聴者数	0 人 (2 席)